

科目名	社会特論 Social Science			担当教員	石丸 健		
学 年	5 年	学 期	通年	履修条件	選択	単位数	2
分 野	一般	授業形式	講義	科目番号	15G05_20210	単位区別	履修
学習目標	国際関係学の基礎を学ぶ。 前期では、国際関係の構造についての原理的理解を深める。 後期は、地球環境と国際関係及び国際関係と日本についての基礎知識を身につける。						
進め方	講義形式で行う。 テーマを設定し、学生間での討論も取り入れていく。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. イントロダクション (2) 2. 冷戦への道と冷戦の始まり (2) 3. 冷戦とその変容 (3) 4. 冷戦の終焉と冷戦の歴史的意味 (2) 5. 地域紛争の時代と紛争多発地帯の原因 (2) 6. 地域紛争を激化させるもの (2) 7. 地域紛争解決への展望 (2)			冷戦についての概括的に理解する		A3:1	
	[前期中間試験] (2)			冷戦後の地域紛争の原因とその実態を把握する		A3:1	
	8. 答案返却・解答 (1) 9. 戦後国際経済体制 (2) 10. 経済摩擦と南北問題 (2) 11. 多国間主義と地域統合 (2) 12. 20 世紀と安全保障 (2) 13. 核革命と核戦略 (2) 14. 安全保障問題の理論化 (2) 15. 冷戦後の安全保障 (2)			戦後国際経済体制と地域統合についての基本的事項を理解する		A3:3	
	前期末試験			核軍拡と核軍縮、核拡散について説明できる		A3:2	
	16. 答案返却・解答 (1) 17. 環境外交の展開 (2) 18. 持続可能な開発を目指して (2) 19. 多数国間環境条約の発展 (2) 20. 第三世界と国連 (2) 21. 第三世界と冷戦 (2) 22. 国際開発政治の中の第三世界 (2) 23. 来たるべき「地球市民社会」のために (2)			地球環境と国際関係についての概要を理解する		A3:1	
	[後期中間試験] (2)			第三世界と国際関係の基本的事項を把握する		A3:3	
	24. 答案返却・解答 (1) 25. 日本国憲法と講和・安保条約 (3) 26. 戦後補償から始まったアジア外交 (3) 27. 国際関係と日本の経済外交 (3) 28. 開発援助分野における日本の国際協力 (2) 29. 国際的平和維持分野での日本の国際協力 (2)			国際関係と日本の政治外交、経済外交の概要を把握する		A3:2	
	後期末試験			国際関係と日本の国際協力について理解を深める		A3:1	
	30. 答案返却・解答 (1)						
評価方法	4 回の定期試験の平均点およびレポート提出状況によって評価。						
履修要件	特になし						
関連科目	政治経済 (3 年)						
教 材	原彬久 編『国際関係学講義』有斐閣						
備 考	特になし						